

スコープ3排出量算定 ・開示・削減検討 コンサルティング

特徴

今や気候変動関連情報の開示に注目が注がれています。特に定量情報であるスコープ1, 2, 3排出量の開示は必須といえるでしょう。それも企業単体でなくグループ会社全体の算定・開示が求められています。スコープ1, 2排出量の算定・開示は多くの企業で実施済みですが、スコープ3排出量については、算定の複雑さもあり今後の取組みとしている企業も多い状況です。

またスコープ1, 2, 3排出量の削減目標策定のデファクトスタンダードであるSBT(Science Based Target)の基準では、グループ全体での排出量の算定・開示のみならず大幅な削減目標の策定も求めています。削減目標はスコープ1, 2に限らず、スコープ3排出量についても必要になります。スコープ3排出量は一般的にスコープ1, 2よりも大きいため無視できないという考えです。

しかし、自社のみの活動によって削減できるスコープ1, 2とは異なり、スコープ3の削減にはサプライチェーンを巻き込んだ活動が必要になるため、削減のハードルは高いものになります。スコープ3排出量の削減実践に向けては下図のようなステップがありますが、多くの企業ではステップ②③あたりで足踏み状態が続いているようです。

スコープ3排出量削減の取組ステップ

- ① 自社単体のスコープ3排出量算定・開示
- ② グループ企業全体のスコープ3排出量算定・開示
- ③ 削減すべきカテゴリ選定とスコープ3削減目標の設定
- ④ 削減方策検討
- ⑤ 削減詳細計画策定（サプライヤ巻き込み）
- ⑥ 実行・運用管理

JMACでは貴社の現状レベルを踏まえてどのステップまでをいつまでに実施するか計画策定から、各ステップの効果的・効率的な実践を推進するご支援をいたします

コンサルティング内容

貴社のニーズを伺ったうえで具体的なコンサルティング内容を設計します。
以下にスコープ3排出量算定、削減目標設定のコンサルティングステップの一例を示します。

(1) スコープ1, 2量の確認

算定済みのスコープ1、2データ及び算定方法を確認、必要な助言

(2) スコープ3量の算定

① 算定構想

各カテゴリの該当の有無の明確化、収集すべき主な活動量データの明確、
社内基幹システム内情報とそれ以外情報の明確化、効率的なカテゴリ算定の順序明確化

② 情報収集準備

データ収集の粗さの検討、最適な算定フォーマット提示(エクセル版)

③ 活動量情報収集

カテゴリごとに取り寄せた活動量情報の確認・必要な助言、
情報収集に関する問題が発生した場合の適切な助言。

④ CO2算定

カテゴリ毎にCO2排出原単位の当てはめ(必要に応じて原単位を作成し提供)、
各カテゴリごとCO2算定

(3) まとめ

① 排出量まとめ

各カテゴリのCO2排出量まとめ、同業他社との比較考察

② CO2算定方法の文書化

各社ごと/カテゴリごとにCO2算定の手順明確化

(4) スコープ3目標設定

① 対象カテゴリ設定

削減目標とすべき対象カテゴリの選定

② 目標方式の選定

総量削減目標/エンゲージメント目標の選定

③ 目標レベル設定

目標基準設定

④ 目標達成方策

目標達成のための大方策設定

事例

業界 物流

会社プロフィール 大手輸送業者を持つホールディング会社

テーマ 多種多様な業種を持つグループ会社のスコープ3排出量算定

背景 同社は主力事業の輸送事業者のスコープ3排出量算定は完了しており、次のステップとして国内関連業者15社のスコープ3排出量を算定し、他社に先行してグループ全体のCO₂排出量の開示と削減活動を推進したいとの思いがあった。効果的・効率的に推進をどのように行うか悩んでいた。

取り組み内容

- 関連会社の業種ごとの算定の考え方・計算方法整理
(不動産販売・管理、倉庫管理、3PL、システム開発、スポーツ施設運営、保険業務、総務人事等シェアード機能請負業務、グローバル配送・通関業務、林業管理、車両販売、車両整備、フランチャイズによる物品販売等多岐にわたる。)
- 業種に適したシナリオ設定
- 各社(15社)の効率的なスコープ3排出量算定(同業他社に先かけて情報開示)
- 各社の担当者が変わっても毎年算定が容易にできる手順の明文化とエクセルによる算定システム構築

業界 土木等コンサルティング

会社プロフィール カテゴリートップを持つプライム市場企業

テーマ SBT認定に向けたグループスコープ3排出量算定と削減目標・計画策定

背景 同社は、気候変動をリスクだけでなく機会(ビジネスチャンス)ととらえた事業戦略を策定し、脱炭素経営として推進していた。そして脱炭素経営の一環としてSBT認定に取り組むことを社内決定。それに向けての最大課題であるグループ全体のスコープ3排出量の算定、更には算定結果を踏まえた削減目標・計画の策定に乗り出した。

取り組み内容

- 海外を含むグループ会社5社のスコープ3排出量の算定を効率的に進め、短期で全体の算定を完了
- 各社の担当者が変わっても毎年算定が容易にできる手順の明文化とエクセルによる算定システム構築
- 各社のスコープ3削減目標の調査
- SBT基準の理解促進
- SBTi本部とのやり取りを通じて「野心的目標」のさじ加減を確認
- 排出量の大きなカテゴリや削減可能性の高いカテゴリの選定
- エンゲージメント目標と絶対量目標の抱き合わせでの目標を検討

その他の実績:化学、産業機械、土木建築、自動車部品、通信機器、印刷、物流、教育機関、娯楽・サービスなど